

三陸縦貫自動車道 6月9日(土) 「河北IC～桃生津山IC」 開通！



仙台圏との物流、観光、緊急時などに効果を期待する三陸縦貫自動車道

桃生豊里IC～桃生津山IC間



11.6キロメートルが開通

三陸縦貫自動車道「河北IC」～桃生津山IC間（11.6キロメートル）が6月9日(土)に開通します。
当日は午前10時から桃生豊里ICで現地式典が行われ、一般開放は午後3時の予定です。
なお、今回開通する区間の通行料金は無料です。（今回の開通により石巻河南IC～桃生津山IC間の18.3キロメートルが無料で通行できるようになります。）
詳しくは、仙台河川国道事務所にお問い合わせください。

三陸縦貫自動車道について

三陸縦貫自動車道は宮城県仙台市（仙台港北IC）を基点とし、岩手県宮古市に至る延長約220キロメートルの高規格幹線道路です。
国道45号の交通混雑の緩和や交通安全の向上を図るとともに、地域間交流の促進による地域振興や救急医療・防災ネットワークの形成により、安全・安心で豊かな三陸沿岸地域の発展を支援する自動車専用道路です。
宮城県内の延長約120キロメートルのうち、現在までに仙台港北ICから河北ICまでの延長約45.2キロメートルが開通しています。桃生津山IC開通後は、延長約56.8キロメートルになります。
なお、登米IC（仮称）も平成20年度内の開通に向けて建設が進められています。

南三陸町から石巻日赤病院まで1時間圏内に

河北IC～桃生津山IC間が開通すると、並行して走る国道45号に比べ約7分が短縮されます。

これにより、救急車両が三陸縦貫自動車道の石巻日赤病院救急退出路までを走行した場合、南三陸町内全域が救急センターなど整備された石巻日赤病院の1時間圏内に入り、命をつなぐ道路としての役割も果たします。

平成20年のうちに無料開放区間拡大予定

現在有料区間の石巻河南IC～鳴瀬奥松島IC間（12.4キロメートル）が、平成20年のうちに無料開放となる予定です。
この区間は平成10年3月に開通しており、その建設事業費520億円のうち国土交通省負担分を除いた76億円を、道路を管理する東日本高速道路が通行料金から当初30年で償還する予定でした。予想以上の通行量があり、償還計画を見直した結果、平成20年1月ごろに償還が終了する見込みとなったことから、無料化の時期が早まったものです。
なお、無料解放後の維持管理は、国土交通省に移管されます。